

R4年度 事業名	移住・交流情報発信事業
R3年度 事業名	移住・交流情報発信事業

総合戦略 体系	214	若者が住みたくなるまちの創造	若者の夢を応援するまち ~よそ者に寛大で多 様性があるまち~	UIターン者定住促進
------------	-----	----------------	-----------------------------------	------------

PLAN (計画)	部署名	総合政策課	開始年度	2011	終了年度	9999
	目的	鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標「若者が住みたくなるまちの創造」を推進し、鯖江市への関係人口・定住人口の増加につなげるために、福井県が行う移住フェアやお盆相談会などを活用して県内外で積極的な情報発信を行うとともに、転入・転出者アンケートを実施・分析して効果的な移住支援策へ展開する。				
	概要	移住希望者への個別相談に応じるほか、都市圏等での鯖江市の移住情報の発信を行う。また、成人式参加者に本市紹介のチラシを配布し移住定住につなげる。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度)相談会や移住フェアはオンラインで実施、SMOUTによるオンライン相談窓口を開設 (R3年度)相談会や移住フェアはオンラインで実施、LOCALMATCHによるオンライン相談窓口を開設 (R4年度)一部の相談会や移住フェアはオンラインで実施				
法令等 根拠		実施 形態	内容	移住希望者への相談業務、都市圏での情報発信		
現在	市直営					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	大都市での情報発信回数※～2019		回	目標値	2				
				実績値	3				
	オンラインによる情報発信回数(移住フェア・相談会等)※2020～		回	目標値		3	3	5	5
				実績値		6	5		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	移住相談件数		件	目標値	30	35	35	40	55
				実績値	43	37	55		
	計算 根拠			達成率	143.3	105.7	157.1		
				実数値					
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	2,053	126	102	114	616		事業タイプ	単独事業
	決算額	852	96	0	0			経費区分	物件費

No	款	項	目	事業	R4年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	2	1	13	208	関係・移住人口創出事業費	8,636	616	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	616

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	50

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	9
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者等に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ 事務改善
取組内容	県主催の移住・就職フェアやその他の移住相談会等に参加するとともに、移住マッチングサイトやSNSの他、新たな情報発信の場を発掘・活用して本市の魅力を発信し、移住を考える人だけでなく、関係人口を増やすため、本市に関心を持ってもらえるよう、積極的に鯖江の魅力を伝えていく。また、県外在住の大学生等で本市の仕事・暮らし・地域情報のメール配信を希望する者に情報発信を行う。
来年度へ向けて	R3年度の実績 県や連携中核都市圏による移住フェアや相談会等にオンラインで参加し、移住相談やPR活動を行った。 ・県主催の相談会(8月、12月)やオンラインエキスポ(12月) ・連携中核都市圏による移住フェアの参加(名古屋3月)、東京(3月) また、RENEW等の鯖江市で行われる感染対策を行って開催するイベントPRをSMOUTに掲載して全国から鯖江市へ足を運んでもらえる取組みを行った。 R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 ・移住フェア等で不特定多数を対象とした相談受付を行った場合、鯖江市目当てに来てくれる人が少ない。 ・県外の学生等へ情報発信をする場合に有効な発信手段が無い。 実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 鯖江への移住を検討している方に対して、市の支援策や地域の情報を届けられるよう、各課の情報を一元化して市公式ホームページを活用して発信する。 R5方向性⇒ 事務改善(手段・サービス水準の見直し) CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	めがねのまちさばえSDGs発信事業
R3年度 事業名	輝く女性世界発信事業

総合戦略 体系	142	魅力ある雇用の創出	女性が輝くまちの創造	女性の活躍支援
------------	-----	-----------	------------	---------

PLAN (計画)	部署名	総合政策課	開始年度	2017	終了年度	2024
	目的	人が集い・輝き・挑戦するまちの実現に向け、「SDGs推進センターのあるめがねのまちさばえ」として、SDGsに取り組むものづくり産地をアピールし、コロナの影響で沈みがちなまちに活気を取り戻し、機運を盛り上げることでにぎわいの創出や交流人口の増加に繋げる。さらに「ジェンダー平等の実現」を核とした、さばえSDGs推進センターを中心とした「めがねのまちさばえ」のSDGsの取り組みや若者、女性を中心とした市民や企業の活動を広く発信する。				
	概要	「ジェンダー平等の実現」を中心とした、「めがねのまちさばえ」のSDGsの取り組みに加え、若者、女性を中心とした市民や企業の活動を映像コンテンツとして制作。番組として放送する映像コンテンツだけでなく、SNSや研修など、様々な場面で活用できるよう、短い映像も制作する。SNSでの世界発信が効果的にできるよう、英訳をつけて、広く発信していく。また、行政、企業、学校が取り組むSDGsの行動の見える化や、SDGsに取り組むものづくり産地のPR、コロナの影響で沈みがちなまちのにぎわいの創出や交流人口の増加を目的として、市民参加型の「さばえSDGsフェス」を開催する。				
	コロナ対応の取組	コロナの影響で、「SDGs推進会議」の開催が不透明であるが、開催された場合にはビデオレターならびに国連レポートでの参加を予定している。また、SNSでの世界発信が効果的にできるよう、地域おこし協力隊員と協力し、英語訳を付け、活発化している若者の活動を情報発信する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	国連の友APと連携している丹南ケーブルテレビに情報発信用コンテンツ制作および発信、放映を委託する。また、国連の友APを通じて国連等に情報発信を行う。	
現在	民間等委託(全部)					

活動指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
制作した映像の活用回数※2022～(女性活躍に関する番組制作※～2021)		回	目標値	1	1	1	100	
			実績値	2	2	2		
計算 根拠			達成率	200	200	200		
			実数値					
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	4,300	3,000	2,860	2,420	4,950		事業タイ	補助(国)事業
	決算額	4,227	2,409	2,365	2,420			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	22	202	持続可能な地域推進事業費	13,527	4,950	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	4,950

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	地方創生推進交付金	2,475
2		
3		
4		
5以降		
合計		2,475

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
11	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または事務改善	

ACTION

今年度 R4方向性⇒ 維持

取組内容 「ジェンダー平等の実現」を中心とした、「めがねのまちさばえ」のSDGsの取組みに加え、若者、女性を中心とした市民や企業の活動を映像コンテンツとして制作。番組として放送する映像コンテンツだけでなく、SNSや研修など、様々な場面で活用できるよう、短い映像も制作する。SNSでの世界発信が効果的にできるよう、英訳をつけて、広く発信していく。また、行政、企業、学校が取り組むSDGsの行動の見える化や、SDGsに取り組むものづくり産地のPR、コロナの影響で沈みがちなまちのにぎわいの創出や交流人口の増加を目的として、市民参加型の「さばえSDGsフェス」を開催する。

来年度へ向けて

R3年度実績 本市の女性活躍推進を軸としたSDGs推進の取組み紹介番組を制作し、地元のケーブルテレビや、さばえSDGs推進センター、地域活動拠点施設(夢みらい館・さばえ)、市のホームページ等で発信した。また、今後実施される国連ハイレベル政治フォーラムでのレポートとして活用していく。

R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題

R4年度も本市の女性活躍・ジェンダー平等の実現を中心としたSDGs推進の取組みを紹介した映像番組を作成予定であり、作成した映像番組はSDGs推進センターでの放映や、オンラインでの発信を行う他、3月に実施するオレンジめがねキャンペーンでも活用するなど、県内外に発信し、できるだけ多くの方に見てもらえるよう、内容等も含めて協議していく。

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点

「ジェンダー平等の実現」を中心とした、「めがねのまちさばえ」のSDGsの取組みに加え、若者、女性を中心とした市民や企業の活動を映像コンテンツとして制作。番組として放送する映像コンテンツだけでなく、SNSや研修など、様々な場面で活用できるよう、短い映像も制作する。SNSでの世界発信が効果的にできるよう、英訳をつけて、広く発信していく。また、SDGsフェスを若年層を巻き込むアプローチや健康な人生を送るための幸福寿命の実現するための取組みとして実施し、広く発信できるコンテンツとする。また、これら取組みを通じて、SDGsに取り組むハードルを下げ、市民が自分ごととして取り組み、行動のきっかけをつくり、行動の見える化を図る。

R5方向性⇒ 事務改善(手段・サービス水準の見直し)

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	めがねのまちさばえ応援事業
R3年度 事業名	めがねのまちさばえ応援事業

総合戦略 体系	271	若者が住みたくなるまちの創造	さばえファン(関係人口)の獲得	関係人口創出事業
------------	-----	----------------	-----------------	----------

PLAN (計画)	部署名	総合政策課		開始年度	2017	終了年度	9999
	目的	「めがねのまちさばえ」を地域ブランドとして確立させていくために、フェイスブックなどSNSの登録者を「めがねのまちさばえ応援隊」として認定し、鯖江の魅力発信を行う。					
	概要	フェイスブック、ツイッター、LINEなどSNSを利用し、若者や女性への情報提供を行い、めがねのまちさばえの魅力を発信する。					
	コロナ対応 の取組	(R2年度) SNSによるフォトコンテスト開催などを通して、鯖江ファンの創出に努めた。 (R3年度) コロナ禍の収束が見込めない中では、SNSを中心とした情報発信による鯖江ファン獲得に努めた。 (R4年度) SNSを活用した情報発信による鯖江ファン獲得に努める。					
法令等 根拠		実施 形態	内容	SNSへの情報発信、めがねのまちさばえを応援する企業や団体を応援企業・団体として認定する。			
現在	市直営						

活動指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
SNS配信回数		回	目標値	20	30	30	100	100
			実績値	21	80	141		
成果指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
めがねのまちさばえ応援隊新規登録数		人	目標値	350	500	500	1,000	1,000
			実績値	1,547	46,678	13,778		
計算 根拠	各SNSアカウントのアカウント数参照		達成率	442.0	9,335.6	2,755.6		
			実数値					
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	50	50	100	800	0		事業タイプ	単独事業
	決算額	44	50	0	0			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	13	206	シティプロモーション推進事業費	7,527	0	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	0

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.08
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

行政が実施すべき事業か。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

住民等のニーズは増えているか。
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)
 増加する見込み 横ばい 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
10	0点~8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)
 節減できている 横ばい 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。
(1いる・0いない) いる いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。
(1いる・0いない) いる いない

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
 目標を達成できている 進展している 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R4方向性⇒ **事務改善**

取組内容 特に若者にターゲットを絞った情報提供を行うことで、市公式SNS等の登録者数を増加させ、めがねのまちさばえの魅力発信を行う。

来年度の実績 R3年度 SNSを活用したフォトコンテストを開催し、投稿写真を毎月SNSに投稿した。

R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 SNSアカウントを秘書広聴課が管理しているため、秘書広聴課との調整が必要。

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 【秘書広聴課と未調整】当該事業の所管課を秘書広聴課とし、連携を図りながら魅力発信を積極的に行う。

R5方向性⇒ **事務改善(業務プロセスの改善)**

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	眼育(めいく)さばえ		
R3年度 事業名	眼育(めいく)さばえ		
総合戦略 体系	999	※該当なし	※該当なし

PLAN (計画)	部署名	総合政策課		開始年度	2018	終了年度	9999
	目的	子どものころからの目の健康づくり、目の健康に関する意識を高めてもらうために「眼育(めいく)」を発信し、幼少期の視力不良の早期発見や目の健康推進だけでなく、眼鏡、レンズの大切さも知っていただくことを目的に事業の推進を図りたい。					
	概要	新潟医療福祉大学石井教授と連携し、「眼育」をめがねのまちさばえから全国発信する。 ①「眼育(めいく)」をPRするための絵本作成や研修会を実施する。 ②視覚検診の充実を図り、3歳児健診だけでなく、就学前健診時にも屈折検査を導入する。 ③めがねのまちさばえ「子ども眼育スタディ」として、スマホと近視の関連性などを研究する。 ④高齢者向け、目の健康づくり教室を開催するなど目の健康づくりに取り組む。					
	コロナ対応 の取組	(R2年度) 保育所など現場での実習や研修会、また健診事業などが開催できず、オンラインによる研修会のみを開催 (R3年度) 保育所や大学での対面による講習会等が開催できず、オンラインにて開催 (R4年度) 対面での講習会等が開催できない場合は、オンラインで開催する。					
法令等 根拠		実施 形態	内容				
現在	市直営						

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
		目に関する研修会・勉強会・イベントの実施	回	目標値	3	5	3	3	3
				実績値	7	5	6		
		成果指標							
		指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
		目に関する研修会・勉強会・イベントの参加者数	人	目標値	100	100	50	100	100
				実績値	700	136	177		
		計算 根拠	R2年度:活動指標と成果指標にイベント参加者数を追加	達成率	700	136	354		
				実数値					
			ランク	A	A	A			
	前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	5,430	1,478	615	674	705		事業タイプ	単独事業
	決算額	5,135	1,429	432	300			経費区分	物件費

No	款	項	目	事業	R4年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	2	1	13	206	シティプロモーション推進事業費	7,527	705	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	705

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.3
	会計年度職員	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	11
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ 維持
取組内容	保育所や将来保育士を目指す学生向けの研修会を実施する。 コロナ禍により令和2年度、3年度と実施できなかった就学前屈折検査を教育委員会や医師会の協力を得て実施する。
来年度へ向けて	R3年度実績 新潟医療福祉大学石井雅子教授と共同し、保護者や保育現場に携わる職員、保育士を目指す学生等に目の健康づくりや眼鏡の重要性について啓発する事業を中心に行った。 R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 令和元年度に実施した就学前屈折検査を令和4年度に実施する予定だが、検査データが気がかりな児童のフォローアップをする体制づくりが必要。また、現在の眼育事業をそれぞれの所管部署で対応する形態に変えていくべきと考えている。 実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 事業の遂行または継続性を考慮し、所管する部署について検討する必要がある。
	R5方向性⇒ 事務改善(手段・サービス水準の見直し) CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	持続可能な地域推進事業 (SDGsパートナーシップ事業)
R3年度 事業名	持続可能な地域推進事業 (SDGsパートナーシップ事業)

総合戦略 体系	142	魅力ある雇用の創出	女性が輝くまちの創造	女性の活躍支援
------------	-----	-----------	------------	---------

PLAN (計画)	部署名	総合政策課	開始年度	2018	終了年度	9999
	目的	SDGsに関する市の取り組みや民間の取り組みなどを紹介しながら、市民へのSDGsの普及・啓発を行う。 男女共同参画・女性活躍推進地域活動拠点施設である「夢みらい館・さばえ」と協働で、SDGs Goal5「ジェンダー平等の実現」を中心としたSDGs推進のための事業を行う。 「さばえSDGs推進センター」をプラットフォームとし、市民、団体、企業、学校等と連携し、SDGs推進のための事業を実施する。				
	概要	国連の友Asia-Pacificをはじめとする、さばえSDGs連携企業・団体等と連携し、SDGsの推進に関する事業、プロジェクトを企画・運営を行う。 鯖江市SDGsシンボルマーク「グローバル」を活用したSDGsの普及・啓発や国際女性デーに合わせたオレンジめがねキャンペーンの普及を行う。 また、地域おこし協力隊を活用したSDGsの推進を行う。				
	コロナ対応 の取組	コロナ禍でセミナーや研修会、イベントなどたくさんの人数を集めて実施する事業が困難であるが、「集う・つながる・考える」をテーマに、オンラインやSNSを活用しつつ、センターに人が訪れる仕掛けづくりをし、取り組む市民や企業、団体が増え、交わり、相乗効果が生み出せるような事業になるよう、工夫する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	リーフレット・パネル・ピンバッジ制作、オレンジめがねキャンペーンイベント、女性活躍推進支援業務は委託。	
現在	民間等委託(一部)					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	SDGs推進のための研修会の開催		回	目標値	20	20	20	20	20
				実績値	27	29	41		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	SDGsの活動事業団体数		団体数	目標値	5	40	40	100	120
				実績値	25	43	65		
	計算 根拠	R2~本市と連携してSDGs推進を図っている企業、団体(さばえSDGsグローバルクラブ等)数 R1までは、市内でSDGs推進活動を行っている企業、団体数		達成率	500	107.5	162.5		
				実数値					
		ランク		A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,658	23,701	4,794	4,964	4,172		事業タイ	単独事業
	決算額	1,120	22,798	3,943	2,077			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	22	202	持続可能な地域推進事業費	13,527	4,172	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	4,172

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	地方創生推進交付金	2,086
2		
3		
4		
5以降		
合計		2,086

事業要員	正規職員	0.7
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
合計点数	12
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善
	9点~16点
	事務改善
	成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) <input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	国連の友Asia-Pacificをはじめとする、さばえSDGs連携企業・団体等と連携し、SDGsの推進に関する事業、プロジェクトを企画・運営、鯖江市SDGsシンボルマーク「グローバル」を活用したSDGsの普及・啓発や国際女性デーに合わせたオレンジめがねキャンペーンの普及および、地域おこし協力隊を活用したSDGsの推進を行う。
来年度へ向けて	<p>R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題</p> <p>R3はコロナ禍の影響により大規模なイベントやセミナーの開催は難しい状況にあったが、センターを会場にして、BookカフェやCINEMAシェアなどの小規模イベントや、オンラインを活用した情報発信、出前講座などを行い、市民や企業のSDGs推進への意識を高めた。R4は、コロナの状況も落ち着き、これまでの事業に加え、新たにSDGsカードゲーム講座や、SDGsフェスを新たに実施し市民のSDGsの「見える化」を目指す。また、引き続き「さばえSDGsグローバルクラブ」の登録企業・団体を始めとしたより多くのステークホルダーとの連携を推進し、市民活動の活性化につなげる。事業実施の際は、ステークホルダーとの共同開催・連携事業等も導入していく。</p> <p>実績と課題を踏まえたR5年度の変更点</p> <p>さばえSDGs推進センターでの事業実施だけでなく、オンラインでの情報発信や研修会の開催、ステークホルダーとの連携事業を実施していくと共に、地域活動拠点である「夢みらい館・さばえ」や、鯖江市役所JK課・市内の学校などと連携することで、活動団体の更なる活性化を図る。</p>
	R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
	CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
R5年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	移住就職支援事業
R3年度 事業名	移住就職支援事業

総合戦略 体系	214	若者が住みたくなるまちの創造	若者の夢を応援するまち ~よそ者に寛大で多 様性があるまち~	Uターン者定住促進
------------	-----	----------------	-----------------------------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	総合政策課		開始年度	2019	終了年度	2024
	目的	東京圏への過度な一極集中の是正および県外転入を促進するとともに、地域の中小企業等における人手不足の解消を目的として、移住者に対し支援金を支給することにより、移住に係る初期費用の支援を行い移住者の経済負担を軽減することで、鯖江市への移住を促進する。					
	概要	<p>【東京圏型】 東京23区の在住・在勤者で、県就職マッチングサイトに掲載された県内中小企業の求人に応募・就業し、鯖江市に移住してきた者に対して、支援金を支給する。(R5年度から子育て加算額を30万から100万に変更)</p> <p>【R4拡大:全国型】 県外の3年以上在住者で、県内企業に就業等し、鯖江市に移住してきた40歳未満または子育て世帯に対して支援金を支給する。※新卒、非正規雇用、公務員、東京圏型の対象者等を除く。</p>					
	コロナ対応 の取組	特になし					
	法令等 根拠		実施 形態	内容	市が交付申請者に対して移住支援金を交付する。		
現在	補助金等交付						

活動指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
補助件数		件	目標値	2	2	2	10	15
			実績値	1	1	2		
計算 根拠			達成率	50	50	100		
			実数値					
			ランク	C	C	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額		5,000	3,200	3,200	6,900		事業タイ	補助(県)事業
	決算額		600	1,000	1,200			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	13	208	関係・移住人口創出事業費	8,636	6,900	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	6,900

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	移住就職支援事業費補助金(国1/2 県1/4)	2,400
2	(全国型)移住就職支援事業費補助金(県1/2)	1,850
3		
4		
5以降		
合計		4,250

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	8

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
合計点数	13
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R4方向性⇒	内容拡大
取組内容	【東京圏型】単身60万円、世帯100万円 【全国型】単身10万円、世帯15万円 ※全国型については、市内就業、新婚世帯、子ども1人につき各5万円を加算する。 また、東京圏型の登録企業数を向上させるため、鯖江商工会議所の作成する広報に掲載依頼をすることで市内事業所向けに周知を行う。
来年度へ向けて	R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 国の支援対象要件が緩和されたが、令和3年度の交付申請者は2件であり、今年度も交付申請者が少ない可能性がある。 県内の導入状況から、本市においても令和4年度より東京圏に加え、全国型を導入した。 全国に本市の制度導入の周知に加え、本市に転入したいと思わせる魅力づくり・発信が課題。 実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 ホームページやSNSのほか、考える媒体を活用して制度に関するPRを強化し、制度の認知度を高め、鯖江市への移住につなげたい。 また、令和5年度から国制度による子育て加算額が現行の30万から100万に変更することから、本市においても同様に実施することで子育て世帯の移住促進を図る。 R5方向性⇒ 事務改善(他事業との連携・統合) CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	シェアリングシティさばえ推進事業			
R3年度 事業名	シェアリングシティさばえ推進事業			
総合戦略 体系	251	若者が住みたくなるまちの創造	参加と協働による市民主役	市民主役事業の推進

PLAN (計画)	部署名	総合政策課		開始年度	2019	終了年度	9999
	目的	平成30年度に総務省から「シェアリングエコノミー活用推進事業」を受託し実施した結果、サービス提供側・利用側それぞれに様々な課題が見つかった。また、セミナーの効果もあり、少しずつ市民のサービス提供登録が増えてきているが、まだまだ活用できるスキルや 遊休資産が眠っている。そこで、域外からの来訪者に対するサービス提供の充実、また域内のサービス提供・利用促進により持続可能なまちづくりを図る。					
	概要	本市に眠っている遊休資産の探求や新たな活用方法を研究するとともに、シェアリングサービスの利用促進を図る。					
	コロナ対応 の取組	(R2年度) セミナー等の県外集客による感染症拡大を懸念して事業中止。 (R3年度) 全国的にコロナ禍が収束するまでセミナー開催は休止 (R4年度) 特になし					
	法令等 根拠		実施 形態	内容	シェアエコセミナー、シェアエコ開拓支援を委託する。		
現在	民間等委託(一部)						

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	セミナー開催件数		回	目標値	2	-	-	-	-
				実績値	2	-	-	-	-
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	サービス登録件数		件	目標値	5	20	15	15	15
				実績値	34	21	15		
	計算 根拠			達成率	680	105	100		
				実数値					
			ランク	A	A	A			
	前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	※ゼロ予算
	予算額		963	864	0	0		事業タイプ	※ゼロ予算
	決算額		904	0	0	0		経費区分	※ゼロ予算

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1							0
2							
3							
4							
5以降							
合計							0

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.03
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している 業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している 市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない 財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない 成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) <input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない									
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ										
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み										
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある										
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>合計点数</th> <th>点数区分</th> <th>次年度方向性の目安</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">13</td> <td>0点~8点</td> <td>事務改善または廃止・休止</td> <td rowspan="2">維持または事務改善</td> </tr> <tr> <td>9点~16点</td> <td>維持または事務改善</td> </tr> </tbody> </table>	合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定	13	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善	9点~16点	維持または事務改善
合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定							
13	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善							
	9点~16点	維持または事務改善								

ACTION

今年度	R4方向性⇒ 事務改善
取組内容	本市に眠っている遊休資産の探求や新たな活用方法を研究する。広報を活用して、市民にシェアリングの啓発を行う予定。
来年度の実績	令和3年度はコロナ禍の影響を鑑みてセミナー等を中止とした。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	「ウィズコロナ」・「ポストコロナ」に対応して実施する必要性あり。サービス登録件数を伸ばすためには、引き続き、信用の高い行政が関わりつつPRに注力するとともに、需要に沿ったサービスへの登録を促す必要あり。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	今後、さらに民間サービスの登録件数を伸ばすために、鯖江市におけるシェアリングの需要がどのくらいあるのか調査が必要。
R5方向性⇒	事務改善(手段・サービス水準の見直し)
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
---------	-------------------	---

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
---------	-------------------	---

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	移住者きばり暮らし推進事業
R3年度 事業名	移住者きばり暮らし推進事業

総合戦略 体系	214	若者が住みたくなるまちの創造	若者の夢を応援するまち ～よそ者に寛大で多 様性があるまち～	UIターン者定住促進
------------	-----	----------------	-----------------------------------	------------

PLAN (計画)	部署名	総合政策課	開始年度	2021	終了年度	2023
	目的	地域おこし協力隊等の活動と、ワークショップで刺激を受けた参加者が取り組む「まちづくり」が活性化される。さらに、移住に関心がある人に鯖江市の移住者の様子を伝え、鯖江への関心を高め、関係・移住人口の創出につなげる。その結果、鯖江の最大の資源である人の魅力向上と増加を図る。				
	概要	①【活動発表会】地域おこし協力隊員等が、地域住民や職員が参加する中で、活動発表を行う。 ②【ワークショップの開催】その活動の発表内容をテーマに、地域住民や職員が鯖江の「まち」の魅力や課題について話し合い、自分事として鯖江の「まち」について考える。 ③【まちづくりの実現】そこで話し合われた内容を、地域おこし協力隊等の活動や参加者の「まちづくり」に活かしていく。 ④【移住予備軍への情報発信】ワークショップの様子を録画し、YouTube等で移住に関心がある人に情報発信する。				
	コロナ対応 の取組	(R3年度)コロナ禍により開催中止 (R4年度)感染対策を行ったうえで実施する。				
法令等 根拠		実施 形態	内容			
現在	市直営					

活動指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
ワークショップ開催		回	目標値			1	1	1
			実績値			-		
成果指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
ワークショップ参加人数		人	目標値			20	20	20
			実績値			-		
			達成率			-		
計算 根拠			実績値			-		
		ランク				-		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額				120	120		事業タイプ	補助(県)事業
	決算額				0			経費区分	その他

歳出予算	No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
	1	1	13	208	1				120
2									
3									
4									
5以降									
								合計	120

補助金等	No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
	1	集落活性化支援事業補助金(県1/2)	60
2			
3			
4			
5以降			
		合計	60

事業要員	正規職員	0.04
	会計年度職員	0
	※所要時間	

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	12
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input checked="" type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	①【活動発表会】地域おこし協力隊員等が、地域住民や職員が参加する中で、活動発表を行う。 ②【ワークショップの開催】その活動の発表内容をテーマに、地域住民や職員が鯖江の「まち」の魅力や課題について話し合い、自分事として鯖江の「まち」について考える。 ③【まちづくりの実現】そこで話し合われた内容を、地域おこし協力隊等の活動や参加者の「まちづくり」に活かしていく。 ④【移住予備軍への情報発信】ワークショップの様子を録画し、ユーチューブ等で移住に関心がある人に情報発信する。
来年度の実績	コロナ禍により未実施。地域おこし協力隊隊員からの報告会のみ実施した。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	地域おこし協力隊の1年間の活動報告会のため3月に開催を予定
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	コロナ禍という特殊事情もあり、ワークショップ形式による地域住民との連携が十分に行えず、当該事業は一旦廃止とする。
R5方向性⇒	<input type="text" value="廃止"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択			可能	不可能	不可能
実施状況			未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	地域おこし協力隊によるSDGs推進事業			
R3年度 事業名	地域おこし協力隊によるSDGs推進事業			
総合戦略 体系	214	若者が住みたくなるまちの創造	若者の夢を応援するまち ～よそ者に寛大で多 様性があるまち～	UIターン者定住促進

PLAN (計画)	部署名	総合政策課		開始年度	2020	終了年度	2023
	目的	鯖江市外の人材を活用し、SDGsの推進に必要な施策を推進するとともに、鯖江市への定住および定着を促進する。					
	概要	SDGsパートナーシップ事業を、国連の友Asia-Pacificでの勤務経験があり、海外事情に詳しい地域おこし協力隊と共に企画・実施するとともに、本市が特に注力する「ジェンダー平等の実現」に向けて海外の視点を生かした研修会や普及事業を実施・発信することで、市民の認知度を高め、SDGs達成に向けた行動を促す。 また、カナダ出身ということで、センターからSNSを活用して鯖江の取り組みを英語訳を付けて発信する他、国連等の海外の情報をセンター内で展示パネルや映像により、市民にわかりやすく情報提供する。					
	コロナ対応 の取組	特になし					
	法令等 根拠		実施 形態	内容			
現在	市直営						

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	SDGsの推進やジェンダー平等に関する啓発活動の実施回数		回	目標値		10	15	15	15
				実績値		10	16		
	計算 根拠	市内において地域おこし協力隊を講師とした研修会・セミナーによる啓発や推進センターでの展示による啓発、テレビ・ラジオでの啓発の実施回数		達成率		100	106.7		
				実数値					
			ランク		A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額			1,990	3,980	3,980		事業タイプ	単独事業
	決算額			1,990	3,919			経費区分	物件費

No	款	項	目	事業	R4年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	2	1	22	202	持続可能な地域推進事業費	13,527	3,980	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	3,980

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	0
	※所要時間	

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	9
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	SDGs推進に関する情報を市民に向けて発信するとともに、セミナー等を通して普及啓発を行うことで、市内におけるSDGs推進を図る。また、SDGs推進に関する国内外の情報を収集、必要に応じて翻訳し、市民や職員等に提供すると共に、本市のSDGs推進に関する取組について、国内外への発信を行う。
来年度へ向けて	R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 R2年度、R3年度共に地域のまちづくり団体や学校、企業等からの依頼により、海外の視点を活かして、SDGsや目標5「ジェンダー平等の実現」についての研修会を行った。また、さばえSDGs推進センターでの展示やSNSの活用等により、市内内外に向けた情報の発信に取り組んでいる。今後もSDGs推進センターでの事業の企画や、「夢みらい館・さばえ」をはじめ、各企業・団体との連携により、活動を拡大し、より効果的な事業となるよう働きかけていく。 実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 引き続き研修会の実施や情報発信を行いながら、随時ミーティング等の情報共有を行い、新規事業の企画や手法の検討・見直しを行っていく。
R5方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択		不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況		未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒